様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224　学研	第１・２・３学年	保体・728	新・中学保健体育
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　保健分野 「心身の機能の発達と心の健康」については、望ましい発育・発達に必要なことを話し合ったり、自分の気持ちを上手に伝える言葉や表情を考えたりする活動、「健康と環境」については、人間の適応能力を超えた環境の例を挙げたり、身近な環境である校内の色々な場所の照度を測定したりする活動、「傷害の防止」については、日常生活の様々な場面における危険の要因を予測したり、けが人を発見した場合に通報する実習をしたりする活動、「健康な生活と疾病の予防」については、１日の食生活例をもとに改善方法を考えたり、たばこや酒、薬物を誘われたときの断り方を話し合ったりする活動を通して、目標を達成できるようになっている。 ○　体育分野 バスケットボールにおける課題を解決するために別の練習方法を考えたり、オリンピック･パラリンピックに対する自分なりの関わり方を発表し合ったりする活動を通して運動やスポーツの多様性の理解を深めるなど、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 保健分野において、インターネットの使用に関わって、長時間の使用による疲労やインターネット依存による悪影響を調べる活動、体育分野において、スポーツが環境に及ぼす影響や環境の変化がスポーツに及ぼす影響について調べるなど、学習したことを生かして知識を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 保健分野において、小学校の社会科で学習した公害の原因を振り返る学習の後に、汚染物質と健康の影響や対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 体育分野において、第1学年で学習したスポーツへの多様な関わり方を踏まえ、伸びやかな自己開発の機会などのスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 保健分野については132ページで前回より約23%増、体育分野については51ページで前回より約31%増、総ページ数は179ページで前回より約23%増となっている。			
使用上の配慮等	○　各章の扉で、学習内容に関連した職業や資格などを掲載したり、学習内容に関連した「コラム」を掲載したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「ウォームアップ」、「探究」において、学習課題を提示したり、「活用しよう」で生活と結び付いた活動を提示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻頭で目標及び活動の内容など、一単位時間の学習の流れや学習方法を掲載するとともに、実習や協働学習など学習活動の種類を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう判読しやすい図表や配色にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、体育編の髙梨沙羅選手の写真など４箇所取り上げられている。 ○　各時間の冒頭に学習内容とキーワードを明示し、1時間で学ぶことの見通しを立て、明確な意図をもって学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　現代的な健康問題、生徒の不安を解消するために必要な内容などを、側注、脚注、コラムなどを用いて随所に取り上げ、実生活に生かすことができるような工夫がなされている。			